

宮崎県立日南高等学校

生徒数：352名 学級数：12クラス URL：<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/6007/htdocs/>

<テーマ>

個性を認め合う教育～人権教育の充実

本校の特色ある取組

○人権教育の充実

年間計画に従い、1年次は講演「かけがえのない私、大切なあなた」（蔵坪恵常氏）、「差別の構造～青い目・茶色い目（アメリカのでの差別体験学習の実践記録より）」、「多様な性を考える」、2年次は「江戸時代の差別」、「明治～大正への差別・水平社宣言」「アサーション」、3年次は「就職試験に向けて」、講演「人権同和教育のまとめ（結婚差別）」（蔵坪恵常氏）を統一LHRを設定し、各学期で取り組んできた。（3年生は2学期まで）長年の構築を生かした授業や新たな内容を加えながら、本校独自の精選された内容になっている。

○教職員研修の実施

3年ほど前から取り組み始めた「LGBTQ」について、現段階では指導案や指導法等を模索中であることから、県人権同和教育課の御助力を得て、宝塚大学の日高庸晴教授を本校にお招きし、職員研修を実施した。日高教授は文部科学省の依頼を受け性自認に関する教職員向け資料の作成協力、法務省企画の人権啓発映像の監修、その他多岐にわたって御活躍の方で、多様な性に対して私たち教職員に伝えたいことをたくさんお持ちで、熱い講演を行ってくださった。たくさん資料もお持ちいただき、1年生3学期で実施した「多様な性を考える」授業にも早速活用させていただいた。

○人権関係書籍の購入

人権関係書籍を数冊購入し、図書館に蔵書していただいた。また、日高先生が訳された絵本「ぼくのスカート」（作：ピーター・ブラウン）、「LGBTQをはじめとするセクシュアルマイノリティ授業（CD-ROM付き）」（監修：日高庸晴）も購入し、人権を管轄する生徒支援部の所蔵とした。

成果と課題

○人権教育

成果～構築された授業案・資料をもとに誰でも気楽に取り組める内容になっている。各学期の授業計画担当者も、自分らしいアレンジを加えながら毎年少しづつバージョンアップしている。とかく難しく考えがちな人権教育であるが、既に存在するものを少しづつ変化させていくことで、本校の在り方を構築している。

課題～当事者の方を「多様な性を考える」授業の講師として、お招きすることも検討する。

○教職員研修

成果～どの学校にも当事者の生徒が存在する可能性があるという認識をもって生徒達への配慮は十分だったか考えることができた。

課題～「生徒が突然カミングアウトしたときの対応の仕方」「修学旅行、部活の遠征などでの当事者への配慮」など、保健環境相談部と連携をしながら考えていき、マニュアル化を図りたい。

○人権関係書籍の購入

成果～生徒達の授業後の感想を読むと、今まで知らなかったことを知る、考えられないような境遇に訳もなく置かれている人がいることに驚いていた。社会に出て行く前段階の生徒達にとっても知るべき内容が多い。図書館に置かれた書籍から、更に学びを深める生徒もいた。

展望～今後は図書部とも連携し、人権関係の月間を設けてもらい、生徒への啓発としていきたい。